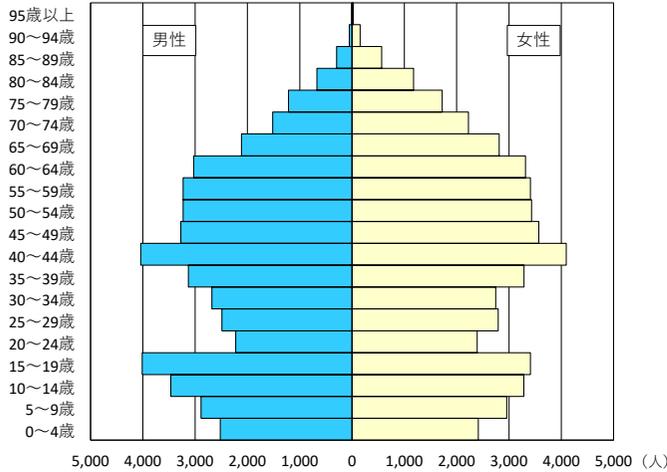


高山市の人口を分析してみよう

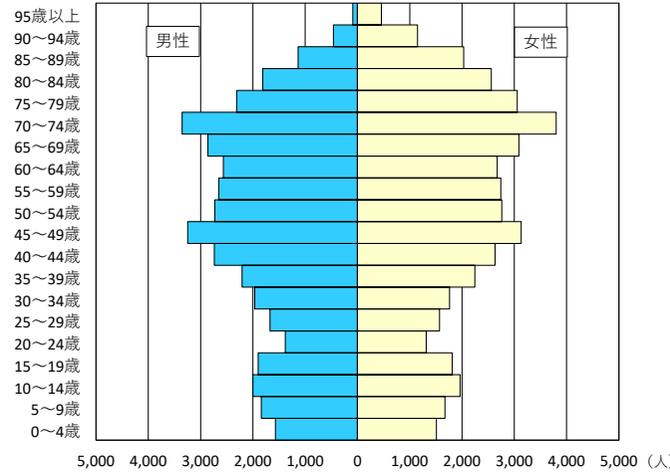
年 組 番 名 前

分析1 高山市の人口ピラミッドを分析しよう

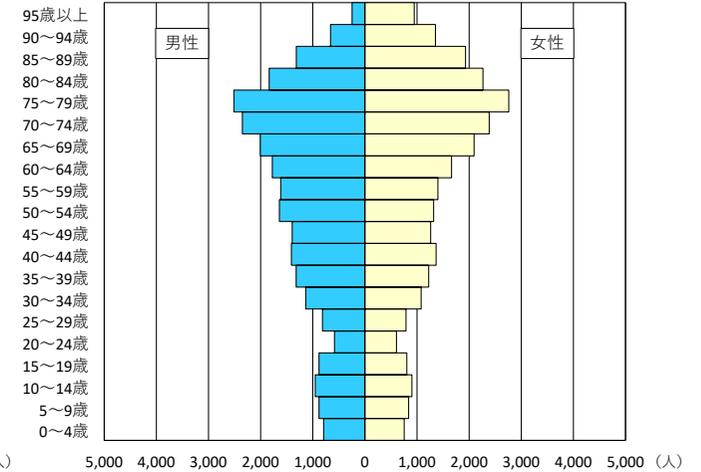
1990年人口ピラミッド（高山市）



2020年人口ピラミッド（高山市）



2050年人口ピラミッド（高山市）



出典：総務省「平成2年国勢調査」、「令和2年国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

①人口の多い年代は、 $\left(\begin{array}{c} \text{高} \\ \text{年} \\ \text{低} \\ \text{年} \\ \text{低} \end{array} \right)$ 方向に移動している。

若年人口の減少、老年人口の増加による。このような社会を、少子高齢社会という。

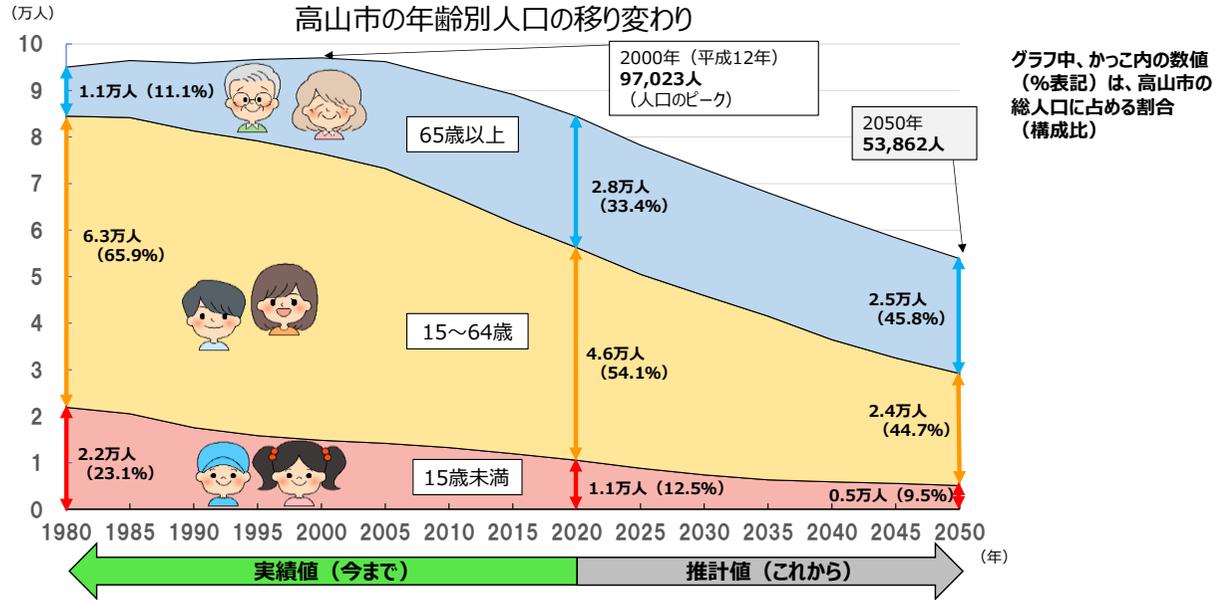
②人口の多い年代は、2020年現在、 $\left(\begin{array}{cc} 1 & 0 \\ 7 & 0 \end{array} \right)$ 歳代と40歳代である。

第1次ベビーブーム世代と、その子世代に当たる第2次ベビーブーム世代によるものである。

③人口の少ない年代は、20歳代にあるが、

これは主に $\left(\begin{array}{c} \text{進} \\ \text{学} \\ \text{自動車の購入} \end{array} \right)$ や $\left(\begin{array}{c} \text{就} \\ \text{職} \\ \text{定年退職} \end{array} \right)$ を機に都市部に転出する人が多いためであると考えられる。

分析2 高山市の年齢別人口の移り変わりを分析しよう



出典：実績値（～2020年）：総務省「国勢調査」（2015年、2020年は年齢不詳をあん分した人口）
推計値（2025年～）：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

④高山市の総人口は、2000年をピークに、
{ 増加を続けている
 減少を続けている }。

この傾向は、2020年以降も続くと推計されている。

⑤ { 15歳未満
 15~64歳 } の人口は、1980年から2020年までの40年間で半減した。

2020年から2050年までの30年間で、さらに半減すると推計されている。

⑥2020年現在、65歳以上の人口は高山市の総人口の約 { $\frac{3}{5}$ } 人に1人の割合を占めている。

2050年には高山市の総人口の半分近くにまで迫ると推計されている。